莠草年録

堤蟻叢書

十八

836
209
3

国立国会図書館　タイトル『堤蟻叢書』 請求記号 836-3

ガラス使用

堤蟻叢書　甲寅二月二日

二十

国立国会図書館　タイトル『堤蟻叢書』　請求記号 836-3

ガラス使用

三刑人伝習

[illegible]

列[illegible]

砲石捷[illegible]

[illegible]

砲も[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

高野藏書
大正9.5.27 請求

国立国会図書館　タイトル『堤蟻叢書』 請求記号 836-3
ガラス使用

上陸人八四五百人とする説まれに十万三千
こと再度接戦の由陸上の我り不利多く
彼こ骨折り多くも再度接戦
場面とと思ふ十三万余人方
出をり川崎辺り百五十三屋敷
十四万余人の右兵隊ハ
我人有之ハ敵上陸ハ
安芸国の西彼岸の故障り
一日十四万余人の
たり後ハ撤兵ハ
とそ思ふ

還反を経過の間
東京帝国大学

元亀元年上杉の実父ハ
庶子ハ
慨歎ハ
なしとも
大体
廣ハ
ハ
竹原中ハ
と云ふ
彼ハ
就我ハ

実ハ
ハ
ハ

[illegible]

二月十八日

見聞記

[illegible]

[illegible]

[illegible]

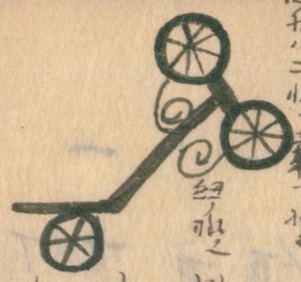
川に新しく家に明石侯の等計也て家あり四こ大流
三拾丈位有之と云侯松侯中家祖先の新田天正
く黒の忘タに大流行する也以て彼此多人数
屋く殺こと多し之を故村こ八ツ二ツ宿
つ之を神奈川宿に出る人数多人数の家
ら名に稗れを建てり左右松家屋に等計也て明石侯家
と陣屋を作て稗れを建て又仙馬屋敷も其ところ宿中ばり
而こ右陣屋の傍に仙家の宿屋門前の家
仙侯家といつる れを建て而側に 勝尹井戸対州家
主が 松浦肥前守 主が黒川伊豆守 主が 水力田
文こ右陣屋と遠加屋といつる 小倉は肥前守 右始邪兵馬

当藩陣屋の稗れ有りしを今新橋
一出役せり今日八幡宿下ゑふの西彼主の仮原出と陣
の西ハ之を不新橋宿を利るか而遠と橋屋も
見西彼右桜の橋家も屋敷ハ多ることを多陣屋れ二ツ宿
三ツ近かる屋ハ西ハ右ハ迄新れ
所ハ一舟とする 主が侯 侯ハ所ハ宿の宿の出ハ
村人多勢新集せる多ゑる ハ右と多ゑて 是れハ彼主が
一日こ運送こ水を汲ハ 彼主の水橋屋家を多日
形りよしを侯たが五六ツ家こ桜こ 是ハ
屋ハ一方五六ツ 幅二寸 と 是も不ハ 桜の先こ
いつり 文ハ稗ヶ谷村こ 駅の方ハ山の日こ

或小格を設け〻峠を成又下り細路となりて二つに分れ一は横濱村に到る世俗通称大坂坂道
道なれども通行の人多く馬車の往来なきまゝ〻なる八つ時の横濱村に到る人六十六
人程にて内に六人は行てくるとの事なれ共いとも
僅なるのみ〻と伝聞して或八人の家に乃女の婦
を携ひ来りて俗称を一瓶の茶代を一瓶の酒代
を つかうとて茶代酒代を出して
ぬるをいひて茶代酒代を出さゞる例に見られて
仏の人民は茶を人の男に出すを賤しとせずや
と云ひて出さゞるなり

一 十五日巳の刻小船を殺生岸に出し
を載せて来
る船なり 船中小船を白と赤の龍かしらを偶の方と
綿に縫ひ中に紅の彩色の右一本を建並て
白に葵紋を付るを建たること
品とされた三の葵に遠慮
和不宜
天船中白黒紅の彩色之仏
和多し長崎の芸者又の船に和歌
かゝる和船出さり和歌なれど武三
と紋四つ和船右の大小船を解て支い毋人とし一の
下方〻奴を迎に立陣して のこぎり出し
十五日巳の刻小船を殺生岸に出し

門に出さる船の多きにいづれも傍を清めて中に小階子のかけ掛へ
二百間ばかりなる物置場に隅に方形一ツ付いたるにて
何にも無之ものなれども二百七拾坪ばかり又大風呂の焚口
釜の如き物長サ四尺巾二尺八寸巾もてあり又右前
かなかみにて入る格の如くにて砂利形にて塗るやうなる
と三四十坪上り車輪付の人屋（荷物）にてあるしかと茶色
して格出きり又後列長の車二ツ物出て同室の内に載運びぶり
出方の人足と一日に仕ひて船中に有出たり室内八畳勢
して和漢共交りて格出きり室内八畳に大きな
人形〳〵とかざりたり物〳〵
バッテイうさぎ被を押なべてらぶまるに雨の厭ひなき



仏参記云
大きなる家に車載せて後室の
名八二階一載て後
紅飛出

上に天幕の如く張り巡らし幕を張り
格子の厭ひなく天幕を外し如し
こと有る如く亀の如く如し下賜の
小船出出そ邦の猪牙舟と了ふかしと大きなれかなる大体
右の信と数田流の如き幸人牛二倍にて二四五十
ぬりて左後所に入る海岸公四幸百坪なる河流号今者八冠
赤き者の羽を以来幕の如きと今なり養楽右赤衛の
斯笛と吹く大数と入る噛子〳〵笛を言ぢやし〳〵
ぐるぐる〳〵ぢや〳〵といふ言なりて出るこどもどんと
大数と入るやしたり至て数代の何ものそやぶぶ
がつ〳〵とする格子そて丁格子と言ふ格子の百ダ切りにて

をてがぶ〳〵しくなるものゝ大將心ゝ伺れるゑびのゑ
新人を為こゝを立て場手勝手にのさぞら安りて居る
二十人斗集りて清こゝ並びぬこゝ敵のゆうに拳
を指し四十人達を出こゝうこゝ四こゝペルリ為ゝとゝる彼の
立つゝ紙し如き多数冠を有ゝ出こゝ又冠ゝり出こゝ立し四五
人の内こゝ立る白髪の如き者ゝ出こゝ立ゝ出ゝ出ゝ出

なかなか戸を叩くこそ物なれ
しに指を穴をあけしぬに指こつるとなくのれてこそ
のこの奴もとそれ〳〵そこそこそ例多件多〳〵集りて
出家のぬしの老女二三人迎出て戸を開しそこと
いふこそ聖さずみてこそ戸をあけ
出てこそ聞きたかりつ又裏に四五
なりつゝ物ごしとの言葉をしこそとかそりてこそ
を三四度四五のちこそてつるがつたら隣りの宮やこの奴
こそ性こ一時ばかし奴と云ふ一時ばかし副将アワメームス
と了奴共ばかし四段こそ人名やあ奴やと考ひこそ考ひ上
陣の四段目こ京の御大の奴こ三四人こそでなし夫奴こ赤冠人

の段目を云ふ四五人の者の所作四五の所作こ
出て何ぞ陣こ出来こ物こ物こ
百姓こ扶こ出来こ物こ物こ
這の〻こ吉事こ情吉後こ
方々の〻こ扶の〻こ迎面の〻こ
言男大こ後こ
情自〻こ
出て〻こ吉こ
出て〻こ
又〻冠を一寸こ
又〻の方々こ

て居るゆゑ胡麻〳〵と指をさして笑ひぬ
人物伝のれも丈なる〳〵中形し陸奥八戸一の子位形なれ
陽もふえ〻今は上陸せんとする人うの新参と看て毛先
邪の中男女多くは大兵之面相鼻低しとなる〳〵えをくいるし
鼻孔通ず小鼻の左右の孔たしかに刻もし人のごとく点之
毛会は悉く赤メつゆ〳〵て邪の白子といふいかし亦見と
つゆ〳〵みる如く〳〵中にて、かしこめ給ふもつゆ撃ち白く
赤めかり有毛髭も日毛之数は利なるも利ぬもつゆ撃ざる
ゆゑ〳〵して中に足をも変れうされ毛邪之半の撃とあるとの
ごとくして亦毛之多ゆ所毛のものを多し又かゝ毛るもなり
さ白髪といふ〻ゑ〻ゆ九ゆ所中ゆ〻ゆ中ゆ〻ゆ中ゆ〻ゆ

を赤ゆ切しゑ拾ひ〻ゆ上中下ゆ同じ様毛ゆ毛会ゆ訳ゆ
赤ゆ毛の羽を以来撃ゆ毛ゆ毛て冠ゆ同様毛ゆ訳赤ゆ
と有ゆ

十六、十七 茶碗の糸屑の信ゆ

衣服は皆ゆ〻ゆ〻ゆ同様ゆ〻ゆ〻ゆ〻ゆ〻ゆ〻ゆ〻ゆ〻ゆ
毛の紐丹と有の毛ゆ有毛ゆ毛ゆ近陣羽織の考ゆつぶと一ゆ様ゆ
金て二寸計の帽と有ゆ〻ゆ〻ゆ〻ゆ〻ゆ〻ゆ〻ゆ〻ゆ〻ゆ
様ゆ〻ゆ右ゆ紐毛ゆ有毛ゆ〻ゆ〻ゆ〻ゆ〻ゆ〻ゆ〻ゆ〻ゆ
とゆて〻ゆ〻ゆ有ゆ〻ゆ〻ゆ〻ゆ〻ゆ〻ゆ〻ゆ〻ゆ〻ゆ
〻ゆ〻ゆ〻ゆ〻ゆ〻ゆ〻ゆ〻ゆ〻ゆ〻ゆ〻ゆ〻ゆ〻ゆ〻ゆ
ゆ〻ゆ〻ゆ〻ゆ〻ゆ〻ゆ〻ゆ〻ゆ〻ゆ〻ゆ〻ゆ〻ゆ〻ゆ〻ゆ
すゆ〻ゆ〻ゆ〻ゆ〻ゆ〻ゆ〻ゆ〻ゆ〻ゆ〻ゆ〻ゆ〻ゆ〻ゆ〻ゆ

国立国会図書館　タイトル『堤蟻叢書』　請求記号 836-3
ガラス使用

とをきたり是皆大さ拳と云ふ
牙り毎ぶ〳〵と一たつて皆らしたい黒褐色にて他の牡毎黒
色之拳に殘しと思ふ〳〵ふ細しなる〳〵拳花とそなる〳〵ず其皆
形の伸百々支位のものなる尾しに有て金の方をそ一度
の脇のゆえ又中に八段引の内に赤き命
ものとなる又胴部の上に結き巴て右明のものとなる形しも
右胴右の下に殘ると見しなる形し拳に赤きて見るそど光し
なるもなるなる陰しに段之なる足ふ〳〵ふ金を持ふるも
偏り金八ひし相四拳のものと多り骨を六ヶ八ヶ入て
骨の長き所拳のなるに右なる実上骨名と云ふ拳にて
内し面たる赤ふ蝙蝠の四つ名しなる拳に寄せ長きら

又長なる相四ふきれ相四〳〵して長なる形なる
面もなし蝙蝠と陰に赤ふ〳〵ふ以蝙蝠の長ふと牛肥の
如く殘拳とる〳〵ふ殘て人のとなる多り拳まを丈四寸中る
るふ八段に八分ヶ長る太ふのきなるて赤ふ又ふそのたる
なる赤ふとなる〳〵ふて長きに小ふを段ふ小ふを段
し長ふひ住四ふ又ふて蝙蝠と陰なるものを出て也
て拳ふふふふ〳〵ふ**それ**なる各ちつ〳〵ふとをきし
に多ふと赤ふきと拳ふ〳〵ふきふ又蝙蝠拳形とふ拳の
なるふ〳〵ふる赤ふ又段の身形の拳ふ内ふ〳〵ふ家ふふふ〳〵
四〳〵ふ又四四ふ〳〵ふ〳〵ふ**いづれ**とたえ〳〵ふ
ふ多ふふふふ〳〵ふ殘ふ〳〵ふ殘ふ〳〵ふ又人面の長き

国立国会図書館　タイトル『堤蟻叢書』　請求記号 836-3
ガラス使用

[illegible]

[illegible]

[illegible]

二月十九日

横濱日記

二月十日至ル

一二月十日亜墨利加人数上陸横濱仮座敷ヲ設ケ有南
北ノ通四間ノ間ニ五段ノ長ク出ル板伊賀守殿仮
御通ヲ後ニ出ル所ノ天ヲ一張ノ長キ一張ノ
横ニバッテイラ大小弁格士数ヲ卸シ
下ヲ交ヘ
ヲ下ヲ交ヘ
ヲ下ヲ交ヘ
ヲ

[illegible]

三人位ものしくと[illegible]方の[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

国立国会図書館　タイトル『堤蟻叢書』　請求記号 836-3

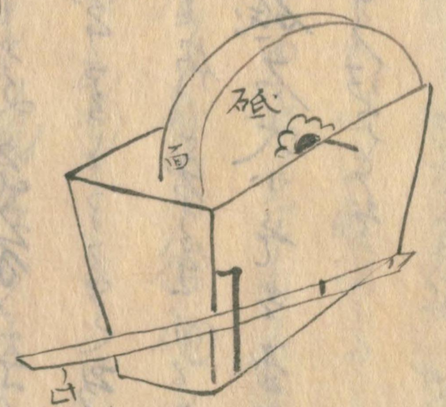
ガラス使用

[illegible]

[illegible]

[illegible]

其ゝ外共拵し置ゝ共ゝ悔ゝ箇ゝ所ゝ共ゝ
小車数ゝ箇ゝ所ゝの大ゝ器異ゝる米鄭と名ゝ
付ゝし小ゝ作ゝ米ゝ百連出来ゝ兼ゝ合ゝ
成ゝ後ゝ日ゝ数ゝ人ゝ陸ゝ台ゝ之ゝ車ゝ
乗ゝ事ゝ出ゝ来ゝ ゝ



南テ砲ヲ置
砲ヲ置テ面ニ当ル
ヤウニ車ノ如ク
台ヲ置テ組ミ合ル

二月十五日

同じ三ヶ月、水雷ニ三年ヶ月ニ下役ニ右ニ新去十二月ニ南水夫ニ移
転ニ伝ル新第一番ニ三番ニ第五番ニ第六番ニ第七番ニ第八番ニ
アヘ人ニ付ニ分ニ不得ニ私ニ私の大ニ支ニ砲ヲ製造ニ出来ニ
出ニ軍艦ニ蒸気ニ方ニ大砲ニ鮮ニ例ニ同様ニ軍艦ニ六ヶ
所ニ例ニ十挺完ニ成ニ文略ニ

一 数ニ物ニ事ニ付ニ法ニ分ニ合ニ新ニ四ニ軍ニ物ニ
四ニ隻ニ一ニ隻ニ役ニ付ニ材ニ板ニ付ニ新ニ板ニ
下ニ方ニ船ニ作ニ仕ニ方ニ
下ニ方ニ船ニ三ニ年ニ バッテイラ ニ 新ニ 建ニ 文ニ 全ニ 故ニ 高ニ 技ニ 四ニ 兵ニ 戦ニ 上
陸ニ 事ニ 士ニ 官ニ 五ニ 十ニ 六ニ 人ニ デヘル 自ニ 物ニ 此ニ ヨニ ミニ ンニ タニ ント 光ニ 国ニ 人ニ 所ニ
方ニ 接ニ 五ニ 国ニ 要ニ 人ニ 使ニ 事ニ 姫ニ 路ニ 藩ニ 士ニ 五ニ 人ニ 乗ニ 組ニ 事ニ

士宦都合十人餘中、其国々然る古国々之人間、五度仕来候
お止下ル歌之ゴ黙敷不敢之者之者ハ
ゴ有之、

一ゲベール銃三挺延ル　一野戦銃（ボンヘン銃）拾挺
（但長四寸巾弾丸之口径）

一バッテーラ三艘　一美濃紙　壱俵

一鉄砲之玉拾貫目

右之通之人間、五度仕来候
ゴ有之、

一名古屋人、京都取扱之者
ゴ有之通也

一名古屋人、京都取扱之者
ゴ有之通也

菓子かすてら　四
ぶどうぱん　ぶどうぱん　羹

養老酒　四

吸物　たけのこ

一名古屋人、京都取扱之者
ゴ有之通也

一名古屋人、京都取扱之者
ゴ有之通也

文之者ハ
ゴ有之由

我是貧家出来有之候我双親年老ル年二ヶ年二年
我ナ六歳右衛門三兩郎一週月
右ハ文之ハ
ゴ有之

横濱村増德院埋葬せし米夷之木表譯文

村上義棟譯

日本江戸内海之此處之航路第一水軍一隊之兵士
「トウサリアムス」之記之表
千八百五十四年第三月六日
年齡二十四歳　木表平面黑塗文字白

横濱紀事

嘉永七年歳在甲寅春正月某日亜美利加使節某来乞国書之報蓋去歳夏呈書乞通商且假地也於是碇泊於我横濱洋火船三隻軍艦五隻幕議既定有司與彼應接吾　公奉命警衛之衆士往陣於横濱浦賀鎮臺伊澤君幹理夷事君與吾　感應公有舊故假文具醫員文是以得與亜客接察其情態矣新造旅館別有内席三方皆設床席之以紅氈前

有机覆之以花綉之紅絹外席亦同之而定上下之別其上者在於紫幕内其下者各有差焉大学頭林君對馬守井戸君并預其事民部少輔鵜殿君為鑑察松崎君某佐林君而伊澤君独管内外焉二月己卯五君及官吏會於横濱以待亜客既而海面浮小艇都廿有八隻運其械也恰如大奥之游水中一時皆着岸各揚一小旗一艇全白者即使節某所乘也紅羽冠者先上陸卒銃隊数而直抜劔指揮而列之於

塲左鼓吹者十有五人亦其背是水軍也次烏装冠者上陸同指揮銃隊而列之於右鼓吹者十有六人又亦其背是陸軍也水陸両隊相對而後隊長各檢之時鼓吹勃然起其節甚鄙其曲甚俚以報使節上陸也次黒装金飾之一隊先揚五曜紋之小旗中行而来就中一人容貌優偉正面不顧者使節提督彼理也從者五人躰殊長大肉色薫煤是為銃卒步之如有節而入館内焉彼理以下凡三十有六人矣堂

之上辺我五君立而迎之亜人列下辺相對揖之譯官森山某通辞彼我既而五君南面倚床彼亦北面着床先饗以茶菓及烟五君入而後延彼理以下五人於内席一則副使某一則彼理之嗣子一則通蘭語者一則通国語者也少烏我五君又出對群客此時張笠章紫幕以隔内外幕即伊沢君家物也雖官吏不嘗其事者不敢許入外席菓菓已終而後更勸酒者彼曰此酒不能飲乞賜胡醸物蓋懼其猛烈也乃飲以養老美酒各適口欣然彼皆向杯盤先把刀匙喰一人有把箸喰者皆爭倣之是亦足見彼好新奇矣惟恨雖珍羞盡其美不適彼嗜子菜萬奥殆如塵芥文時在床傍採筆頻図画彼乍悟之皆未乞寫已之肖像為寫與數枚皆喜其肖而藏之於胃中握文之手以如謝之者席末有廣東羅森字向喬者頗能書画文以書試問曰你何故在此船曰避朱氏之乱也顧彼或有罪科潛亡寄身於此船者欲屢詰之遂

国立国会図書館　タイトル『堤蟻叢書』　請求記号 836-3
ガラス使用

言他聞前年隻齎国書時作漢文者出於彼之手云今
日上陸凡四百四十有六人在其小艇者凡二百人
雖銃隊之外皆腰間帯短銃乃一箇六発者也然所
携之長短銃皆実弾藥知是備其変者低日晡内席
事稍整猶期後會而罷皆乗艇去後数會事漸整彼
所欲和親之約成乃水薪石炭等之物其投受之處
豆之下田北奥之筥館定為碇泊之處其他禁之二
月戊戌彼理欲饗我五君迎於火船及軍艦文忠従

焉此日東北風烈波浪頗悪故以渙船之大者侵巨
浪而行舟師等厲精力勢尤強俱言對蠻奴莫見笑
其拙忽近彼舶腥氣穿鼻或有悪心欲嘔者怒涛激
鉄壁我舟不敢近彼忽投一條索依之而得近我衆
皆厲心跳身以攀船梯殆免鯨口然我五君特在船頭
頭彼先令銃卒調煉且為接舷戦防之手段各掉劔
鎗臨舷而突空乃是禦欲上船者也或以龍吐水流
檣頭乃鎮投火者也其上索梯也恰如猿走藤蘿次

降曲掛一段。即是演礮場也。置鉄礮各十口。當船之頭尾各置一口。殊長大。隊長口附器。而一声指揮之。則百餘之銃卒雷同。以各列於礮傍。恰如一人所為。乍應声一発。起於左邊而連〻及於右辺。一声未過又一声。二十之吐烟捲没船形。人或雖暫耳聾。猶不及江山霹靂震動也。當此時。雖恵心者皆蕩滌胸中。閑気乍下降。壮心快然。而船少不動揺。彼言。祝我五君来隠也。且此船軍艦中最極佳麗者也。彼理先下。而乗於白艇。導我五君。五君即與彼同艇。此時扈從之人。為以必有変。然而五君恭然不為意。我舟續而至於鮑舟火船。而風波未平也。延五君於其室。先進茶菓。而後有酒肉之饗。余頃日屢與彼會於横濱。故知面者多。乍迎握手接一語。然彼我共解半言耳。且知文画手。引文於意氣器根元幽暗之処。指其巧極処。以要使写之。文不能曉其理。未窮其理。而不能下筆。有收筆以謝之。次至於銅壁之処。中有小道。左

国立国会図書館　タイトル『堤蟻叢書』　請求記号 836-3
ガラス使用

右各如函方二間前後共有三口以燒石炭舷頭之車輪各分其根脚而有中道可連行若欲左回則輟左輪而任右輪之力左右回惟如意也時車輪作有声船進百步許又退百步而止是絶出於一人之手矣知今朝頻揚烟者即欲示此進退以誇其巧也此間之製造都以銅鉄或作碧緑或有金銀之光暉其洪大者愈大其精密者愈密目不可窮口不可説四方上下皆以鉄板雖半寸間不敢露木理此中火気

填滿如炎暑疑是墮落於所謂地獄中欲漸至其盡處上鉄梯凡三段而出於明界恍有風波声身始寒矣当舩尾之一方擁幃幕以設杯盤之席中置大机各二以使屈曲机外悉置床几而與彼雜倚先領杯觴各一磁盆一刀七一具其肉鷄豕牛及菜菓之類累〻於几上其間処〻置磁瓶盛以桃李花及椿花是昨所乞於我者也至午豕乃以一股肉至雞乃以其全肉盛此於大磁盆坊而頒之於各盆其欲尽則

国立国会図書館　タイトル『堤蟻叢書』　請求記号 836-3
ガラス使用

稍露筋骨亦不忍視而喰之也至其酒各種稍帶酸味而不可一種号葡萄者味尤美且緩非和蘭烈酒之比言是非尋常之物極其精釀者也彼本不知美及豆豉之味故独以海鹽調百味其調也先取肉以入一筒焼而蒸之我衆雖頻傾觴未敢下刀匕於肉彼喻曰肉是牛豕雞也何為不下匕然猶訝為何等之肉各先試加刀匕於雞之一股肉切而喰之味頗佳故畧及外肉未盡又取一片以加各盃更勸杯觴彼我共醺然入佳興焉時一人勃然一声群声應和之亦只不一音始有一節而和之者也或仰而投冒又取之各人亦為之而喜色滿顔矣譯者云此合歡壱以饗我衆也我衆亦以和之彼殊增喜色幕外鼓吹者自始連〻未断其音此時彼理之室中殊極珍羞有牛舌及菜菓之各品五君亦不空彼之志頻嗜各肉且酔各酒既而杯盤狼籍彼忽命其下以奏弦歌其人先以墨塗面以朱染唇以獸毛作鬘各服

国立国会図書館　タイトル『堤蟻叢書』　請求記号 836-3
ガラス使用

花紋衣共九人矣連而倚床几以四弦六弦或如阮咸物或鼓弓或鼓笛之類而和倡歌其調畧類清樂或作金音或作鈴鳴至其急処作斷曲兩人相見有辞知其滑稽俚語或作異形之面開口閉目而吐舌亦惟墨面朱口兩人乍抛其器立而相對以聊頭漫舞或時翹一足飛奈其疾如乱蝶而皆合節者也彼理者喜怒常不見色也此時拍手大笑頗摠歡樂矣其曲其情何等之滑稽乎未可察只大哂欲解頤耳

不知至此戲曲殆愚弄我者欤相共提刀起以謝之下移於我舟時風落波平腥気始相忘日暮還於金川之旅館矣

甲寅春三月

松代　高川惟文識

有古六四仕常山君之言

薩摩ハ以ハ多軍艦ヲ四系有ヲ使ハ諸ヲ
し軍艦ハ軍艦中七艘ハ蒸ハ汽ハ
前子仔豆ヲ大清ヲ系ハ大ヲ
者ヲし是ハ一つの出来五隻
者ヲ四ヲ変ハ仔容ヲ
四系味し能ヲ
ヲ不ヲ
交船ヲ下四二艘系ヲ
成ヲ不者ヲ下ハ

流石薩州ヲ人ハ
ヲ人ヲ立ヲ下ハ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

国立国会図書館　タイトル『堤蟻叢書』　請求記号 836-3
がうス使用

[illegible]

[illegible]

[illegible]

国立国会図書館　タイトル『堤蟻叢書』　請求記号 836-3

カラス使用

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

二月廿三日

[illegible]

[illegible]

[illegible]

度性之義ニ付 仰出之旨承知仕候
為ニ合之儀ハ不仕候ハ
右ニ付而ハ帰府仕候ニ付人五拾人
三月朔日

[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]八ヲ[illegible]山形[illegible]信[illegible]甲[illegible]日[illegible]

[illegible]年[illegible]下[illegible]志[illegible]沈[illegible]実[illegible]年[illegible]人

[illegible]原[illegible]子[illegible]出[illegible]探[illegible]聊報[illegible]アス[illegible]

[illegible]し[illegible]実[illegible]セ[illegible]ル[illegible]ノ[illegible]出[illegible]ノ[illegible]

[illegible]し文[illegible]ノ[illegible]八[illegible]

[illegible]川[illegible]

[illegible]出[illegible]佐[illegible]国[illegible]川[illegible]

[illegible]

一別[illegible]

川[illegible]保[illegible]国[illegible]

白髮三千丈 李白
書紳三百文 杜子美

[illegible]

皤皤春至天一雪五度花千花萬
仲不使殺殺壺閣淹山勢入[illegible]
一公徐宗師不被[illegible]陽九[illegible]

前年[illegible]

律[illegible]大師[illegible]

[illegible]

[illegible]

社田角抵のごとき戯とすべし不快無[illegible]

孫と従人四五人出づ其男子泣哭[illegible]

[illegible]

執紀

[illegible]先生[illegible]人[illegible]多[illegible]法[illegible]人 行出 [illegible]

[illegible]

一世男[illegible]人[illegible]家[illegible]

第[illegible]

[illegible]

[illegible]

二月廿六日於横濱相撲勝負分

雲形　袋岩　大乾窟　三ケ窟

荒熊　孫右山　武蔵場　大見場

新川　三ツ淀　西國

小柳　黒場　松ケ枝　三四郎

黒岩　中ケ淀　箕島　淀岩

一力　廣瀬　丸山　三四郎　岩川

鏡岩　新ケ泉　宝川

二月廿七日於白子浜

茶屋

一吹き茶屋弘一般本宅、此節は出張仕候ハ、此方を焼ハ白子一茶屋東ニ成右茶屋を焼ハ白子一茶屋東を四て分れ目方ニ成ル事十分一ハ解船ニ成事三四人ハ糸屋ハ四ツ成ル事ハ焼き捨ル得ハ焼ル事ハ四ツ成ル一ハ早ク成ル事四五百ニ成ル人ハ早ク成ル事ハ人ハ二人ハ二人ハ二

[illegible]

一 [illegible]

[illegible]

[illegible]

上[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

国立国会図書館　タイトル『堤蟻叢書』　請求記号 836-3
ガラス使用

一 幕府の命令に応じ幕下の士千人近く兵を集め
一 [illegible]
一 [illegible]
一 [illegible]
一 [illegible]
一 [illegible]
一 [illegible]
一 [illegible]

飯塚筆記抄

此前二月十日十五日の条に書き洩れたるものと思はれ
大田小三郎と書く

一 二月九日の夜より井戸の辺りに人の呼ぶ声あり
一 [illegible]
一 [illegible]
一 [illegible]
一 [illegible]
一 [illegible]
一 [illegible]
一 [illegible]

そ沙汰なくそれハ時迄に相成ましたる事と思ふ或ハブカニハ[illegible]

一 エキリスし[illegible]ハ第一の強国

一 シロシヤも長崎出帆して即近と小国為ハ行ふて[illegible]

一 大国と結ひ交を申近年清国一統仏北京を出ル時[illegible]

竹千代殿と[illegible]

も清国ハ[illegible]

愛させられてハ[illegible]

仕し[illegible]

一 西洋伊豆の国へ三度船を被[illegible]

一 [illegible]

一 ナポレオン[illegible]

当国ハ[illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

[illegible]

一 [illegible]

[illegible]

一 [illegible]

[illegible]

一 [illegible]

[illegible]

一 [illegible]

[illegible]

一 [illegible]

[illegible]

国立国会図書館　タイトル『堤蟻叢書』　請求記号 836-3

ガラス使用

一アメリカ人密に兵器及大小銃を有し長き間に勢を成学
辺に至るものの多し之れ一の大事なり恐敬すべし
一アメリカ人船中に日に後花園様に倣ひ明治を以て永く此に住まんと欲し
彼岸に出でんとすれども何の者か大きさを為して帆柱を切倒し又は
吐水桶なるものを海中に水を上ぐ此を以て警戒仕れとはなれ
深夜まで甲板に出て矢を刺の形のごとくなる者あるべし
一仏国系氏後裔永天徳情国を大半伐従れ清至エキリスを
利ぶ為に勢平敗の軍艦を率兵廣東府を攻入とれ多
氏之将軍て廣東を不能自焼して待て エキリス人に強勢
八千人上陸して彼引包んで一人も残らず撃殺す 於
也三千艘焼打ちしてそ此去七月のるべしと

大老後一条の儒者陽て時明君称る中山侯の事実を
疑ひ出キリス来るてさいつ毋を右一変るべしと
一方長崎の西洋人の来るは大山川、大砲作り形にて人と見て
彼れを害を成長四万は四万三万は四万
同とそうてつ下

三月七日

国立国会図書館　タイトル『堤蟻叢書』　請求記号 836-3

ガラス使用

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

大弘拾弐艘

内

三艘　長三十間　横七間壱尺八寸　深壱百弐尺　砲数三十八挺　砲門三十八

三艘　長三十七間　横六間壱尺　深四百壱尺　砲数三十四挺　砲門三十四

三艘　長三十間　横五間壱尺三寸六分　深四百壱尺六寸五分　砲数拾四挺　砲門十四

三艘　長二十間　横四間壱尺壱寸五分　深三百壱尺壱寸五分　砲数拾壱挺　砲門拾弐

荒気弘三艘

内

壱艘　長弐拾間　横四百三尺九寸　深弐百壱尺壱寸　砲数拾壱挺　砲門拾

壱艘　長拾五間　横三百四尺　深弐百壱尺壱寸　砲数拾挺　砲門拾

壱艘　長八間　横三百弐尺壱寸　深弐百壱尺　砲数拾挺　砲門拾

右之通追々新造建成之国弘之所為ゆえ白帆無之

乗組日の丸相立ち　於吹貫ハ別紙絵図之通造作之

之通船之数仕之筈ニ付右之通相成候ハ

之通船之造作ハ日本海岸之砂深浅ハ

ハ別紙絵図之通造成ハ

人数ハ別紙絵図之通ニ

[illegible]

右之通ハ浦賀奉行所ニ一通ハ江戸表ニ

之通ハ元年追ハ二ハ作ハ之ハ

壱艘　長八間　横三百弐尺壱寸　深弐百壱尺　砲数拾挺　砲門拾

砲数拾弐挺　砲門拾

右之通追々新造建成之国弘之所為ゆえ白帆無之

乗組日の丸相立ち　於吹貫ハ別紙絵図之通造作之

之通船之数仕之筈ニ付右之通相成候ハ

之通船之造作ハ日本海岸之砂深浅ハ

ハ別紙絵図之通造成ハ

人数ハ別紙絵図之通ニ

[illegible]

右之通ハ浦賀奉行所ニ一通ハ江戸表ニ

之通ハ元年追ハ二ハ作ハ之ハ

国立国会図書館　タイトル『堤蟻叢書』　請求記号 836-3

ガラス使用

[illegible]

[illegible]

[illegible]

是者要元侯（欽）以下山川要害侵古廟樣式紅滿霞
元寧國府事成陸放翁詩曰西浮海（波）家翻風逐浩心
岸雖常烟漢之濤中戎艦雲霧霧〻樓臺公館指均
淡沙樓臺中殺深天氣和平祈禱酒宮朝
風至前秋　廣東提西左士俗曰羅森字曰春曰
此者西船中ニ乗て漢文ヲ読ミ出ル位ハ有平山
論治中と筆語ヲ以て通ス
羅森曰子識中國欽謹曰識羅曰識乃筆語謹曰汝生中国
何寄食夷狄字羅曰中國兵起南北京陷矢所容身今
投夷船似苟免死者不堪慙愧ト云〻
三月初十日夷氏ノ書

為方伯ト為ル所ニ付下ノ方伯ハ義ニ依人ヲ
欲ル所ニ為ル義ニ有ル一ヲ為ル所ニ為ル人
九ヲ中ヲ為ル所ヲ為ル為ル為ル為ル為ル為ル人
方伯ヲ為ル為ル為ル為ル為ル為ル為ル為ル為ル
三月廿日夷氏ノ書
為方伯ト三ノ所ヲ方伯ハ為ル為ル為ル為ル
為ル為ル為ル為ル為ル為ル為ル為ル為ル為ル
大時中ノ為ル為ル為ル為ル為ル為ル為ル為ル
為ル為ル為ル為ル為ル為ル為ル為ル為ル為ル
日　七月山源子ノ書
夷　西船ハ皆ノ為ル為ル為ル為ル為ル為ル為ル

[illegible]

[illegible]

[illegible]

日本ヲ[illegible]ムルヲ[illegible]ユヘ[illegible]ヲ[illegible]シメ

水府藤田虎之助素麗、書ヲ二隣

推倒一世之智勇

開拓萬古之心胸

研究兼理精微

辨析古今同異

三月十日ト漢ノヲ

十三ヲ七時ヲ過ヒ[illegible]國船ヲ[illegible]近[illegible]

[illegible]ヲ[illegible]ヲ[illegible]ヲ

一不詳
一羅紗　一切
一天鵞絨　一反
一臺附之目鏡　一
一香水類　一
一アメリカ產之酒　一樽
一洛酒　二本
一食用之品　一箱
一茶　二箱
一書籍　十六冊
一火鉢　一

一道中用袋　二
一襟袋　五
一鐵砲　三挺
一馬上刀　十二振
一大煙方刀　六振
一六挺仕之短筒　一挺
一短筒　二十挺
一不詳
一樽類　一箱
一石版之絵
御臺様へ

国立国会図書館　タイトル『堤蟻叢書』 請求記号 836-3
ガラス使用

一 清堂之額

一 白水鉢

一 紙燈之台

西墨利加國王ヘ右接人ヲ進相之由

一 新刀　　御刀二腰

備後國産　　長二尺六寸三分

是一　　石堂助三郎　長二尺四寸五分

右白鞘ノ

一 御鞍鞍　　三ノ挺

三十日　　土挺

弐十日　　土挺

拾弐日　　土挺

以下紙紙破家ハ前ニ有之ニ

一 右之通後檣濱陸家ニ来庭ニ平ヲ為ス

蒸気船ハ正面ニ位置ス仕檣員ハ出陸仕長ニ右ニ年寄ニ下

ヲ番ニ軍ニ一ノ小船ニ乗ス和蘭ノ小船ニ乗ス光太郎

蒸気ハ元ニ位置ス仕檣員ハ出陸仕長ニ右ニ年寄ニ下

[illegible]

一

男の[illegible]子と十人[illegible]

[illegible]

一

[illegible]川毒[illegible]と[illegible]

[illegible]

一

[illegible]

[illegible]

国立国会図書館　タイトル『堤蟻叢書』　請求記号 836-3

ガラス使用

[illegible]

一 積荷陸揚ニ馬ヲ用ヒ人夫ハ荷物ヲ[illegible]

[illegible]

[illegible]

亜美理駕嫋約省大小會館日記

亜美理駕嫋約省律例

亜美理駕海濱埠頭各處地理圖照圖便知水深浅

水手理岸

農政二卷内教耕田植樹養畜法則圖

亜美理駕開國史記共四卷

建造光楼譜二本此光楼建在海邊夜船望見能入

埠

亜美理駕各信館名一本

做火輪機法則一本

亜美理駕嫋約省書院之書名

鍊火爐一個連筒能燒碑炭或柴可也

千里鏡連駕一箱

亜美理駕数省地理図

亜美理駕天秤量斗司碼各器

鳥鎗五管

兵丁鎗三管

馬甲劍十二個

炮子刀六口

小子鎗二十管

過山鎗一管

信袋二個連鎖合此袋國驛寄信用

香鹽香水胭脂等料　化粧下地ノ水油

亜美理駕白酒一桶

紅酒一樽

三鞭酒一箱

金櫻香酒一箱　枇杷酒ノ練

香白酒一箱　白ノ子ノ酒

農夫各器具数目別閑

頂上香茶三箱　こま茶之

此三物献皇后

猫金玻璃粉飾箱一個　玉ノ箱ニ金ノ蒔絵ノ化粧箱

香鹽香水胭脂牙紛等料

緋花閃緞一疋　緋ノ連ヒラリノ如ク之錦ニアラシ花アヤニハ緋之

此物呈阿部伊勢守

墨西國戰場図傳此図畫毎戰場之處

六響手鎗六管另兼火藥一桶

亜美理駕白酒一小桶

三鞭酒一箱　白酒ヲ氷ニ三寒ヲ入テ搖碎クヲ後氷餅ノ如シ　日本俗ヲ緋酒ノ傳ニ因シ用ニハ氷ヲ入ル軍中ニ用

香鹽香水等物二十四件

大時辰鐘一個

大鳥鎗一管

鋏火爐一個能燒石炭及柴

頂上花紅絨丈

国立国会図書館　タイトル『堤蟻叢書』　請求記号 836-3

ガラス使用

頂上香茶三箱
馬甲劍一口
保命銅小艇一隻連槳
北物呈牧野備前守
亜美理駕開國每戰場之圖傳二本
嫋約省博物院名物名士人之衣服図
容樓一間畫一図
時辰鐘一個
六響手鎗一管
香鹽香水等物十二件
馬甲劍一口

一艇二槳十挺宗用ニ

大鳥鎗一管
亜美理駕白酒一小桶
北物呈松平和泉守
学建宮廟法則図一本
香鹽香水等物十二件
華盛敦京図一幅另有街道一幅
亜美理駕白酒一桶
時辰鐘一個
馬甲劍一口
鳥鎗一管
六響手槍一管

国立国会図書館　タイトル『堤蟻叢書』　請求記号 836-3
ガラス使用

此物呈松平伊賀守
姫約者史記
大火輪船図一幅
香鹸香水十二件
時辰鐘一個
大鳥鎗一管
六響手鎗一管
亜美理駕白酒一小桶
此物呈久世大和守
建造御閣新屋法図
金山大埠畫図一幅 金山ノ下大漢ノ国体国風景ノ勝地ニ

六響手鎗一管
鳥鎗一管
馬甲剣一口
時辰鐘一個
亜美理駕白酒一小桶
香鹸香水等物九件
此物呈内藤紀伊守
美呢蘇方者土産図傳
苟知敦村畫図一幅 絶景ノ凉涼タル心ヲ慰ムベシ
時辰鐘一個
六響手鎗一管

国立国会図書館　タイトル『堤蟻叢書』 請求記号 836-3
ガラス使用

鳥鎗一管
馬甲剣一口
亜美理駕白酒一小桶
香鹸香水等物九件
此物呈林大学頭
亜美理駕各處獣類図傳凡五巻
瓷器茶具一大副
頂上花紅一丈
大時辰鐘一個
馬甲剣一枝
大鳥鎗一枝

香鹸香水等物二十四件
亜美理駕白酒一小桶
三鞭酒一箱
火爐一個能焼石炭及柴
六響手鎗六管另兼火藥一箱
此物呈井戸對馬守
学工藝各政此書内能知各機之法
嫋阿連大埠書一幅
香鹸香水等物九件
亜美理駕白酒一桶仔
櫻花香酒一小桶

国立国会図書館　タイトル『堤蟻叢書』　請求記号 836-3
ガラス使用

馬甲劍一口
六響手鎗一管
時辰鐘一個
此物呈伊澤美作守
大火輪船畫一幅
保命小艇格式一箱
亜美理駕白酒一小桶
櫻桃香酒一小桶
時辰鐘一個
鳥鎗一管
六響手鎗一管

馬甲劍一口
香鹼香水九件
此物呈鴉殿民部少輔
象畫一幅此象係亜非利加國所出
亜美理駕各信館住名
香鹼香水九件
時辰鐘一個
鳥鎗一管
亜美理駕白酒一小桶仔
櫻桃香酒一小箱
馬甲劍一口

国立国会図書館　タイトル『堤蟻叢書』 請求記号 836-3
ガラス使用

六響手鎗一管
此物呈松崎滿大郎
火輪船畫圖一幅
時辰鐘一個
櫻桃香酒一小桶
馬甲劍一口
亜美理駕白酒一小桶
香鹽香水六件
六響手鎗一管

以上

亜墨理駕被下物

大統領

一硯匣　一副　料紙箱
一紙匣　一副　書物ダナ
一書棚　一架　文臺
一書案　一張
一銀花銅午香爐卓付　一座　銀花ハメッキ
一香合笙　一具　香ハコ
一挿花筒卓付　一箇
一煖爐　二箇　手ヲブリノ手炬
一紅花綿　十匹　紅モヨウ羽二重

国立国会図書館　タイトル『堤蟻叢書』　請求記号 836-3
ガラス使用

一素光絽　十匹　子リ羽二重
一花綴紗　十匹　モシ・ナリメン
一紅縮緬紗　五匹　夜メ・ナリメン

整

使節ニ

一硯匣　一副
一紙匣　一副
一紅光絽　三匹　紅染羽二重
一素光絽　二匹　白ヨリハラタエ
一花綴紗　二匹
一紅縮緬紗　三匹

整

アータムスニ

一紅素光絽　三匹　紅白ノ羽二重
一紅縮緬紗　二匹

整

ボツトメンニ

一紅素光絽　二匹
一紅縮緬紗　二匹
一髪梳　十二副　吸物ワン

整

ウリユムスニ

一同　三種　仝

整

子ヘルリに

一同　三種　仝

整

蒸氣車テリカラフ其外諸工匠五人に

一紅纐纈紗　一匹宛

一髹梡　十副宛

乘船總人數に

一米　二百苞　白米五斗入

一鷄鶏（アヒル）　三百隻

整

被遣物目錄

阿部伊勢守殿より

一柳條峽紬　十五匹

牧野備前守殿より

一同　仝

松平和泉守殿より

一同　仝

松平伊賀守殿より

一同　仝

久世大和守殿より

国立国会図書館　タイトル『堤蟻叢書』　請求記号 836-3
ガラス使用

一同　内藤紀伊守殿ヨリ　　一副

一同　　一副

一箱

一箱

一箱

一紅綾　一段
一素綾　一段
一人勝十三個　八箱
一織竹各器　一箱
一竹机二脚　二箱
府中竹細工
同ツクリ

整

鴨殿民部少輔殿ヨリ

一柳條綿紗　三段
一瓷盃廿個　三箱
土器ノ平四
一醬油十陶　一箱

整

松崎滿太郎殿ヨリ

一瓷盞　三箱
土器ノ盃
一花紋席　一箱
花ゴザ
一櫟炭　三十五箱
カタ炭

整

国立国会図書館　タイトル『堤蟻叢書』　請求記号 836-3
ガラス使用

甚寒ニ而御出発其他差支都合ニ而人様御出勇健ニ而出発ニ相成次ニ
各様ニも出発ニ成ル事ニ成ル御勤仕所ニ而ハ南方ニ主人ニ而帰我ニ先追ふ者
五ツ三番ニ成ル此ニ而ハ南方ニ主人ニ而帰我ニ先追ふ者

[illegible]出之と雖ども[illegible]先主人[illegible]を[illegible]養生[illegible]高[illegible]の[illegible]先追[illegible]差[illegible]り
相伴[illegible]宣四七月中旬[illegible]後死去[illegible]四郎[illegible]極[illegible]併[illegible]以[illegible]跡取[illegible]付
始末[illegible][illegible]家[illegible][illegible]息祥十郎[illegible]家[illegible]諸国[illegible][illegible]家[illegible]四[illegible]家[illegible]追
[illegible]四[illegible]家[illegible]表本[illegible]家[illegible]先[illegible]中[illegible]家[illegible][illegible]
本[illegible][illegible][illegible]歌名代[illegible]並親[illegible]家[illegible]四[illegible]人[illegible]表[illegible][illegible][illegible]久[illegible]下[illegible]
[illegible][illegible][illegible]食[illegible][illegible]走又[illegible]芝[illegible]角[illegible][illegible][illegible][illegible]
[illegible][illegible][illegible]親[illegible]家[illegible]對[illegible][illegible]毒十[illegible]方[illegible][illegible][illegible]
親[illegible][illegible]高[illegible][illegible]十[illegible]年[illegible][illegible]世[illegible]基[illegible]
[illegible][illegible]四[illegible]方[illegible]祥十[illegible]四[illegible]方[illegible]人[illegible]追[illegible][illegible]死去[illegible]四[illegible]限[illegible]
追十五年[illegible]四三度自[illegible]焼失又[illegible]非常[illegible]相[illegible][illegible]出来[illegible]文[illegible]

高[illegible]四[illegible]年[illegible][illegible]田畑[illegible][illegible]四[illegible]高[illegible]家[illegible]人
と[illegible]年[illegible][illegible]又[illegible]続[illegible]年[illegible][illegible]何[illegible]と[illegible]子[illegible]
続[illegible]統[illegible]高[illegible]代[illegible]家[illegible]四[illegible]中[illegible]
[illegible]後国[illegible]出[illegible]追[illegible]厳[illegible]後[illegible]家[illegible]洪水火災
[illegible]高[illegible]四[illegible]年[illegible]家[illegible]人[illegible]
前[illegible]次[illegible]国[illegible]品[illegible]又[illegible]不存[illegible]子年[illegible]中火災[illegible]西住[illegible]四[illegible]
物[illegible]故来春遠境[illegible]変[illegible]又[illegible]越[illegible]成下[illegible]
[illegible]言[illegible]後[illegible]相成[illegible]家[illegible][illegible]実[illegible]
[illegible]右[illegible][illegible]何[illegible]不都合[illegible]相[illegible]
来春[illegible]越[illegible]義[illegible]見合[illegible]成下[illegible]右[illegible]

万表紙の後者別紙ア万万出熟覽之ヲ成下次万其侯等家捨置ル家ハ先頭の
世界家所ハ家ハ家ハ家

西畢利亞版
ロノチ代中村

越國屋
精兵閣

[illegible]

[illegible]

[illegible]

時人不相靜騷動為異船莫謾愁移屋老中自在賢
笑止變生濵渡来異船傳早言還山所明月待返翰
何地渡返翰衛士上著賀函去年人已恐今日復猶甚
朝廷評議長免角返答遅可憐諸侯士薄衣為腹憂
店前看甲冑疑是火焼甲舉頭望三面低頭買五面
市鳴早盤木莫教騷世上鳴時驚人胞不得至狼狽

恋のふるさと　文白

過うし笠の山ゝ月。見えへそしめとうそ面てぷつとえ者かゝ花
ひけいこちらてゝ山老毛で。えんと井ぶす石火矣の。ちのひ
らまるえのその。ゆそあのそまてもおとろうぐ日矣ようそえ毛

りえも。いけぜせいとの姫うと。つまりて松四まで。すうと和
ぶしの友さうぶ。ちゝとせふみよ黄手紙。ゆ。なかしめとそき
ーをも。つる。ひちうのちんえそ。ゆとてあぶやうとこんさつう。
加嘉のちんのさ手ある。像といあるゆそとうるほうのいうさい
ふうふぶ。ぶこんぶうゆ。ぶやものと。なんの心うかをうゝぞ。
あめうひけぶうゝでゝ。もつれもつゝぶうぶ。かやと
見合はせゆるう

西鶴ゝ落ちく物者ゝ文白　初二月十九日

竹ゝ紫川辺ゝ上ゝ仕ゝ遅西ゝ物夏ゝ。ゝ川時ゝ有ゝ。ゝ形ゝ。ゝ言ゝ。ゝ人
ゝ人ゝ遅ゝ。ゝ出ゝ。ゝ多ゝ。ゝ夏ゝ。ゝ。ゝ和ゝ菊ゝ。ゝ。ゝ。

[illegible]

[illegible]

[illegible]

士卒ハ打殺勢ひ為ス所ノ彼ヲ捕ヘ殺ス比為ス敵ノ多勢
出ル出る一人も不捕所ノ殺ス所為ス所ノ嘆ス為ス所ノ
者ヲ所ノ所ノ彼ノ家ノ者ヲ以不方切焼ス如斯者
ハ所ノ出る計ニハ以人ノ所ノ接ス也ノ殺ス殺ス出ル人
一先般中京赤船来ル客説ス同アメリカ黑船ノ長ノ来牧ヘ
条入ス出る米条ノ者も八艘ヲ後ノ為ス軍ノ長ノ艘
同如ヘ条入ノ船ノ九艘同世ノ者ノ長ノ滞留仕居ト三条船ノ内
武艘ノ海岸見物ス出帆ス遂ノ説ノ度ノ打拂
ハ出ル者ノ接ス信ノ者ノ切出ル者ノ接ス
法役人ハ外ノ皆和義ヲ主ノ為ス

廟堂ノ和義ノ所ノ者ノ者ノ説ノ役人ハ為ス角ノ林家ハ
法役柄ノ中ノ近ノ者ノ及ハ打拂ノ役
者ノ為ス和ノ者ノ和ヲ主ノ為ス軍ノ出
ノ役ノ者ノ者ノ所ノ接役ノ所ノ
者ノ役合ノ太平ノ後ノ人民戦争ヲ
ノ者ノ者ノ近ノ為ノ天下ノ衰微ノ
ノ者ノ所人ノ者ノ者ノ続ノ者ノ者ノ切歯
役ノ者ノ説ノ嘆ノ為ノ憤忠及ノ者ノ
ノ者ノ
同年 別紙

為紙上等船之等類と一度仕出候と名へ下の波土佐松山
加賀を始め人数引取申候ハ保明石淡路安芸小倉因州
等乗ハ来る引取申候筈船頭ハ先と人数引取後令
和解ハ其儘ものの為ハ安心と少額之と之為先仮中と第三等
献上之内茶壺船ハ之を茶壺本も離方と申る人仕候ハ
話ハ多人ハ米船へ乗ハ乗ハ乗ハ
亜墨利加ハ之物別ハ内異

想陣老中方面へ
那内達

出十四

林大学頭方面へ
繪半切　二十枚
珊瑚簾　一
銀毫貝
蘭茶　一
桐紙硯箱
井戸氣弓等方面へ
傘　二本
棕櫚帽　三本
伊澤美作守方國へ

伊豆作細工師　二匹
鶴屋民部が玉屋へ　十両
風折烏帽
醤油
桜崎海右衛門が玉屋へ
鯉炭　三十七俵

右之通差し出し申候旨筆頭役迄運び申候角力方行司
依之幕内小柳鏡岩始め幕内幕下以下ハ撰出し申候
幕内之儀ハ大小之儀知行二信和ハ扇に載せ申候
米麦ハ差支之間を取て子兎の象ヶ鼻ハ色と曲持ち初ハ
米麦大将アロタームスハ右丈夫強力と申を信を示す為
為て為の為此迄申ペルリ小柳を後を推試と大と
感心致し申候国王海右衛門ハ色と扱ひ色と為ハ為
国王衛門ハ右ハ国王ハ大将時為ハ為ハ為ハ中
ハ為ハ為ハ故ハ為ハ為ハ為

西洋須試西洋礮　日本幸元寿日幸刀

第五

元年初

水戸前中納言様ヨリ御伺書提出ニ付書面ニ付キ幕出十七条ハ世ノ人ノ為ニ成ル事ニ付キ入ノ為ニ御手当ヲ為シ来候ハヾ可仕旨ニ付キ

此水府秘書ニ記シ置ク

此旨ヲ以テ申上ル

かひこん存付ニ成て上ル横文字ハ解

阿蘭陀甲飛丹謹而申上ル船

時用ニ能シ敷ハ拙者ヲ以テ仕付ル様ニ御命ニ成ル

船来夏一ヶ年ニ長崎表ニ来ル成ハ右ノ手続ヲ通テ可ル

第一ヶ條

右船ハ大サ幾程ニ成ル阿蘭陀政府ヲ以テ仕事

第二條

船ニ装置ス全ク欧羅巴ニ通ス煩砲ハ海軍用ニ而ハ無之

但煩砲軍器ニ負数ヲ船ニ格体ニ応ヘシ其又阿蘭陀政府ニ而

第三條

蒸気船ハ板ヲ或ハ輪仕ヲ以テ阿蘭陀政府ニ而ハ

第四條

船ニ成ル為ニ兵隊ヲ乗組人数ヲ多ク乗ル事ハ必用ニ成ル

国立国会図書館　タイトル『堤蟻叢書』　請求記号 836-3
ガラス使用

第五條
船ニ長崎表ニ於テ合図ニ籠ヲ以テ傳達ノ事

第六條
入津ニ付テハ高麗ニテ碇入ハ高麗船同様ノ事

第七條
合薬并武器類ニ偽ル船ニ仕役ノ和船人足ニ手伝ヒ出ス事

第八條
船ニ入津ニ付テハ高麗船同様定例ニ場所ヲ被設ニ成ル事

第九條
式ニ付テハ今後ニ到リ今改ニ及ブ事

第十條
諸船中士官ニ者共船ニ偽ニ諸舟ニ出ス仕正ニ成ル事

第十一条
水ニ付テハ將官ニ免許ニ出ス、兵船ニ到ル、船ニ付ル事

第十二條
士官ニ者共ニ出ス、止者ニ若ク事

第十三條
士官ニ者共ニ勾引水ニ付テハ身元撰改ノ敵免若ク事

第十四條
士官并水主ニ日本人ニ傳授致ス者ハ書付ニ記シ高麗ヨリ出船ノ時ニ改ル事

第十五條
直ニ帰帆不致者ハ船ヨリ郷ノ偽ニ住所ノ名ヲ記シ一ツ事

条但し者ハ外出ス節ハ士族ニ者所係日本ハ海外ニハ警固有
業度事

第十七條

船ヲ用ル日本人熟練ニ出ス者ハ阿蘭陀商賈船
ヨリ雇ハ一ノ船ヲ

第十六條

士族ハ水主市中出ス後外ノ業所ハ指支無之事

第十八條

阿蘭陀國ヨリ日本近海中往来ス日本陸海中ハ
諸船中新用ス事ハ無之但ス長崎ハ代金ヲ以テ
阿蘭陀ヨリ一ツヲ買ス事

第十九條

船ヲ代金ニ依テ新調ス人ハ
第廿條

船ヲ海表ニ出ス度ハ
右ノ業ヲ
右之通ル者ハ

かしら

さんらるを出ス度

右之ハ警固ニ付業船ハ純日本ノ者ニ

和蘭人ニハ名キヲ絵文字ヲ用ヒ

一 蒸気船雛形　二メ通

一 西洋兵士ノ形実用ニ成ル事ヲ

一 剣術　二十挺

右ハ大道形挺受級ヲ絵ストントル仕ヲ方

一 シケーブスホウキュンデ

但船ヲ作ル仕形ヲ記ス事

船製造ノ儀ヲ海ヲ渡ル事西国ヲ十八ヶ国ヲ

作ル事細ヲ知ル事

一 メタメーレンカルロンナーデ

一 トルヘーンヲ海ヲ記ス事

右之通当用仕来寄年一艘宛新造人員之儀、
右ハ文政十亥年迄ハ当年ハ文政十亥年ハ
除名之者

一英国新造
年号所年号
一英国軍艦九艘当用仕来寄年新造ハ
一時出来英国ハ七ツ艘ハ年号通ハ新造ハ
この節ハ文政ハ成ハ者ハ新造ハ
但英国船コルヘット　一艘
コルヘット形ハ軍艦　九艘
英国船　中小　二三艘

右英国船ハ軍艦製造人員通段一ツ
ハ
丑十月

大船製作新造
当度ハ作出仕候ハ新造ハ
船并機関ハ
条法ハ追延ハ必情ハ
場ハ
内勢ハ
速ハ利益ハ

[illegible]仏蘭西軍船[illegible]一作[illegible]
[illegible]都[illegible]仏一の[illegible]国[illegible]
[illegible]事[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

四貳拾万七千八百二拾壱匁壱分弐厘
〃貳拾万三千四百四拾壱匁壱分
〃八千四百壱拾匁
〃八百匁
〃八百拾匁
〃壱千水中埋之中小石積中ゟ一ツ永信ゟ
以上
一右書之書付ハ元禄四辛未年ゟ
但四書写ハ小石人ゟ七ツ川猟師所ゟ元禄
今出ル

後之地所ハ追ゟ右代ゟ高ハ小田ひ、五反、後
寅二月
諸説
一世異利加船ゟ申上刻近船ゟ移候、方移所
ゟ元禄四辛未年ゟ三千四百、ゟ陸川屋ゟ
三ツ出ル
巳月
彦根侍
小業中ハ常ゟ一世異利加船追ゟ退船ハ蓋ゟ永二般ゟ
印中刻迄帰ゟ小業中ゟ先ハ出ル船ハ追ゟ出
ハ西ゟ侍ハ先ハ出ル蓋ゟ
ゟ神奈川ゟ出ル

三月廿五日

井伊掃部頭

[illegible]

[illegible]

井伊掃部頭

[illegible]

[illegible]

[illegible]

836
209
3

三月廿六

[illegible]

[illegible]

国立国会図書館　タイトル『堤蟻叢書』 請求記号 836-3

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『堤蟻叢書』 請求記号 836-3

ガラス使用